

良人對妻

原作並脚色者 帝キネ 現代映畫
監督者 宅道武郎
撮影者 関本 静夫

主要役者
福井健三
その妻夢子
佐々木昇

その妻さ 江
柴田志夫 小二條玉子
説——深川ひさし氏の「白さ黒」につぐ監
島洋々

品である。

絶法を教へられたので、夢子は早速日頃が子に思ひを寄せてゐる音樂家柴田志夫と親した。斯くする内に福井と佐々木兩家に騒持ち上つた。それは夢子の態度を信じた柴

夫に招待されて行つた夢子は歸宅しなが
。佐々木はささ江の操縦法のあまり利過ぎ
ささ江を疑つて、「家を出て行け！」と言つ

かなかつた。さと江は途に福井の家を訪れてを話した。それを聞いた福井は夢子に危迫るを知つて、さと江と柴田家へ駆付け志迫るを知つて、さと江と柴田家へ駆付け志

魔の手から夢子を救つた。夢子は再び福井の手に抱かれ、ささ江も健三と夢子に送ら、佐々木の處へ歸つて行くのであつた。